

資料6 第2回受講者ノート

調査票の作成 — 質の高いデータを集める

↓
質問を通じて対象者とコミュニケーションをとる道具

1. 構成

表紙
属性に関する質問
(性・年齢・職業・住所・収入・学歴)
本題(テーマ)に関する質問
お礼 回収方法

2. 量 かかる時間

(目安) 自記式 15分 (A4 3~4枚) ⇒ 量と質は反比例
面接式 30分 ↓

{ 子供・高齢者
字の読み書きになれてない人 } …… 長くかかる 量を絞る作業
データ入力
労力・費用

3. 言葉遣い 用語

丁寧 簡潔 分かりやすく
「回答者はよく読まない！」ことを前提に
{ よく読まなくても } …… しっかり回答できるように
{ よく読んでも }
PHC QOL 行政 法律の名前
定義 解説

4. 表紙

- ① タイトル
 - ・中身を正確に
 - ・予断をもたない(中立的)
- ② 調査期日
- ③ 調査主体(個人, 団体)
- ④ 調査目的(誤解を招かないように)
- ⑤ 協力者(団体)
 - 事前了承 内容チェック
 - 信頼感, 回答意欲のアップ
- ⑥ データの用途 プライバシーへの配慮
 - ありのままを答えてください
- ⑦ 結果の還元方法
- ⑧ お願い協力(依頼)
- ⑨ 記入方法 } …… 目立つようにはっきりと
回収方法 }
回収期限 }
- ⑩ 連絡先 責任者(複数の手段)
質問, クレーム

5. 質問の順序

- ① 原則として答えにくい質問（微妙な質問，面倒な質問）

↓

うしろ，目立たないところ

- ② 導入は答えやすい質問から
属性
- ③ 枝分かれの質問は最小限に（とくに自記式）
→未回答，誤回答・・・増える
→回答意欲・・・・・・・・下がる

6. 質問の形式

- | | |
|---|------------------------------------|
| ① オープン（記述式） | ○ 回答者自身の言葉 |
| 〔
・ 探査型調査
・ 選択肢をつくるため
態度，意見
〕 | × 集計しにくい
長時間かかる
相手の記述力に左右される |
| | ○ 集計しやすい
答えやすい
短時間で済む |
| ② クローズド（選択肢） | × 選択肢の質に左右 |

～Point～

- | | |
|------------------------|---|
| 1. 選択肢はタテに述べる
読みやすく | 8. 多すぎる選択肢は× |
| 2. 選択肢は数字で区別する | 9. 否定形を多用しない |
| 3. 1質問1テーマ（選択肢も） | 10. 正確すぎる答えを求めない
(記憶できない)
↓
カテゴリー化して聞く |
| 4. 誘導質問は× | 11. 「なぜ」質問は注意する！
回答が多様化する
↓
〔みんなあてはまる気がする〕
〔どれもあてはまらない気がする〕 |
| 5. 質問文と選択肢を一致させる | |
| 6. 選択肢は短く | |
| 7. 2ページにはまたがない | |

◎年齢を聞くときには

データの質	高い	1. 生年月日 → ・正確 ・個人が特定される不安	}	加工しやすい
		2. 満年齢 → ・時点 ・高齢者 不正確		
	低い	3. 年齢階級 → 1. 10～19 2. 20～29 3. 30～39	}	これ以上 加工できない

※ 男 m a l e . . . アルファベット順
女 f e m a l e

資料 7 研修会事後意見調査調査票

「茨城県健康づくり指導者研修会」参加者に対する事後意見調査

平成 13 年 2 月 7 日

国立公衆衛生院 公衆衛生行政学部

曾根智史

本調査は、厚生労働省の健康科学総合研究事業「都道府県レベルで活用できる効果的な研修技法の開発に関する研究（主任研究者：曾根智史）」の一環として、公衆衛生従事者のためのよりよい研修技法を開発する目的で、今回の研修会に関する皆さんのご意見をうかがうものです。

調査結果は、統計的に処理しますので、個人の回答がそのまま公表されることはありません。ありのままをお答えください。

本調査の結果は、後日、茨城県健康科学センターにご報告いたします。

本調査の趣旨をご理解の上、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

全部で3ページあります。記入もれないよう、お気をつけてください。

回答後は、曾根がその場で回収します。

ご不明の点は、曾根までお知らせください。

ここから質問が始まります。

質問 1 あなたの性別をお答えください。

1. 男性
2. 女性

質問 2 あなたの職種は何ですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

1. 保健婦
2. 栄養士
3. 事務職
4. その他（詳しく）

質問3 本研修会は3日間の研修からなっていました。それぞれの回について、あなた自身が感じた講義内容の難易、課題・練習問題の難易の程度を選択肢の中から1つ選んでください。また、わかりやすかった点・わかりにくかった点を自由にお書きください。

	講義内容の難易	課題・練習問題の難易	わかりやすかった点・ わかりにくかった点 (自由記載)
第1回 (1/17) 調査の目的・対象・方法の設定	<ol style="list-style-type: none"> 1. たいへん易しかった 2. 易しかった 3. どちらともいえない 4. 難しかった 5. たいへん難しかった 	<ol style="list-style-type: none"> 1. たいへん易しかった 2. 易しかった 3. どちらともいえない 4. 難しかった 5. たいへん難しかった 	
第2回 (1/26) 調査票の作成	<ol style="list-style-type: none"> 1. たいへん易しかった 2. 易しかった 3. どちらともいえない 4. 難しかった 5. たいへん難しかった 	<ol style="list-style-type: none"> 1. たいへん易しかった 2. 易しかった 3. どちらともいえない 4. 難しかった 5. たいへん難しかった 	
第3回 (2/7) 調査の実施、データ解釈	<ol style="list-style-type: none"> 1. たいへん易しかった 2. 易しかった 3. どちらともいえない 4. 難しかった 5. たいへん難しかった 	<ol style="list-style-type: none"> 1. たいへん易しかった 2. 易しかった 3. どちらともいえない 4. 難しかった 5. たいへん難しかった 	

次に研修会全体についてうかがいます。

質問 4 本研修会の内容は、全体として、あなたが研修したいと思うことと一致していましたか。

1. とても一致していた
2. だいたい一致していた
3. どちらともいえない
4. あまり一致していなかった
5. まったく一致していなかった

質問 5 本研修を他の人にも勧めたいと思いますか。

1. とても勧めたい
2. できれば勧めたい
3. どちらともいえない
4. あまり勧めたくない
5. まったく勧めたくない

質問 6 本研修会全体を採点するとしたら何点ですか（60点を合否ラインとして）。

_____点

質問 7 本研修会全体を通じて良かった点、改善したい点がありましたら、自由にお書きください。

以上で終わりです。記入もれがないかご確認の上、曾根までご提出ください。ご協力ありがとうございました。

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

該当する刊行物はない

Ⅲ. 平成 12 年度研究班名簿

主任研究者	曾根 智史	国立公衆衛生院公衆衛生行政学部 健康教育室長
研究協力者	大井田 隆	同 部長
	武村 真治	同 研究員
	小宮 愛恵	国立公衆衛生院専門課程
	梅野 裕子	国立公衆衛生院専攻課程